

診療情報を利用した臨床研究について

虎の門病院循環器センター内科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をまとめるものです。この案内をお読みにになり、ご自身やご家族等がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「ご自身やご家族等の診療情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の相談窓口までご連絡ください。

【対象となる方】

調査対象となる期間： 2009年1月1日 ～ 2020年12月31日の間に、上腸間膜動脈解離/腹腔動脈解離のために虎の門病院に入院・通院し、診療を受けられた方

【研究課題名】

孤立性上腸間膜動脈解離および腹腔動脈解離の臨床的特徴に関する研究

【研究の目的・背景】

《目的》

上腸間膜動脈解離/腹腔動脈解離の臨床的特徴や疾患背景、および診断後の経過を調査し、併存疾患や診断時のCT画像データ上の特徴がその後の経過にどのような影響を及ぼしているかを検討する。その上で今後の診療における改善点を見出し、今後同じ疾患に罹る患者に有益となるように役立てる。

《研究に至る背景》

上腸間膜動脈解離/腹腔動脈解離は比較的稀な疾患であることから、その臨床的特徴やその後の経過はいまだ不明な点が多く、検討が必要な状況である。また同時に近年のCT検査機器の発達に伴い診断頻度が上がってきており、その臨床的特徴や疾患背景と、診断後の経過を調査することによって、今後の同疾患への診療を改善することができる取り組みにつながると考える。

【研究のために診療情報を解析研究する期間】

2022年12月13日 ～ 2023年9月30日

【単独/共同研究の別】

虎の門病院単独研究

【個人情報の取り扱い】

お名前、ご住所などの特定の個人を識別する情報につきましては特定の個人を識別することができないように個人と関わりのない番号等におきかえて研究します。学会や学術雑誌等で公表する際にも、個人が特定できないような形で発表します。

また、本研究に関わる記録・資料は虎の門病院循環器センター内科 児玉 隆秀のもと研究終了後 5 年間保管いたします。保管期間終了後、本研究に関わる記録・資料は個人が特定できない形で廃棄します。

【利用する診療情報】

診療情報： 性別、年齢、身長、体重、自覚症状、血液検査、CT データ、入院日、退院日、
転機など抽出可能な項目

【虎の門病院における研究責任者】

虎の門病院 循環器センター内科 部長 児玉 隆秀

【研究の方法等に関する資料の閲覧について】

本研究の対象者のうち希望される方は、個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲内に限られますが、研究の方法の詳細に関する資料を閲覧することができます。

【ご質問がある場合及び診療情報の使用を希望しない場合】

本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、またはご自身やご家族等の診療情報につき、開示または訂正のご希望がある場合には、下記相談窓口までご連絡ください。

また、ご自身やご家族等の診療情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、2023年6月30日までの間に下記の相談窓口までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様にご不利益が生じることはありません。

【相談窓口】

虎の門病院 循環器センター内科 大津 裕
電話 03-3588-1111(代表)